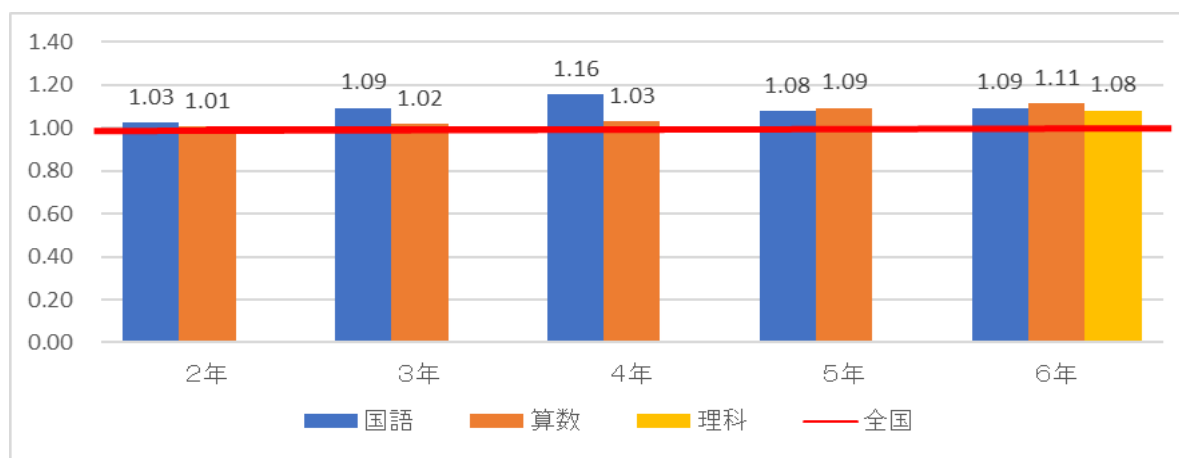


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第六中学校区 第五小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	言葉の使い方や言語文化の課題で特に良い結果であった。事実と自身の考えを関連付けて表現する学習を充実していく。
	算数	「数量関係」や「図形」の領域において良い結果であった。数と計算についての知識・技能に関する学習を充実させていく。
全国学力・学習状況調査	国語	記述式解答の課題や「情報の扱い方」に関する知識・技能において良い結果であった。引き続き、事実と考えの関係を意識して文章を読んだり、書いたりできるよう学習を充実させていく。
	算数	記述式解答の課題や「変化と関係」や「測定」の領域において、特に良い結果であった。図形の性質や角の大きさなど、図形領域の知識・技能に関する学習を充実させていく。
	理科	「生命」や「エネルギー」領域の知識・技能において良い結果であった。学習した知識をもとに様々な事象を概念的に理解し、考察したり、表現したりする学習を充実させていく。
	質問紙	「学校に行くのは楽しい」「先生は、よいところを認めてくれている」について肯定的な回答が多い。仲間と共に学ぶなかで互いの良さに気づき、自己有用感を高めていけるよう支援していく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

全国学力・学習状況調査、市到達度調査の結果を踏まえ、課題の共有と対応策の構築を図る。また、ねやがわスタンダードに基づき、ディベート教育や家庭学習ノートなど、中学校区での統一した取組を行い、小中学校の学習体制の段差を解消するシステムづくりに努めている。小中連携会議においては各教科の課題や対策を共有し、校区の子どもの実態把握に努めている。

【 学 校 】

少人数指導や教科担任制、学年副担任制の充実を図る等、個に応じた丁寧な指導に努めている。ディベート学習やICT機器の活用を通じて、自らの考えを深め、活発に交流する授業を行い、「考える力」の育成を図っている。